



## 第3回 新人助産師研修会



令和元年 10 月 5 日（土）、山口県看護研修会館において、第 63 回新人助産師研修が開催されました。昨年に引き続き鳥取県立中央病院の高橋弘幸先生に「産科ショック（出血の対応）」について講義をして頂きました。新人助産師を含め 24 名の参加がありました。



午前には分娩第 3 期の積極的管理・産科危機的出血の対応ガイドライン・全身管理・止血処置について詳しくご講義されました。産科出血において、まずは PPH（産後の過多出血）を起こさないための対応、起こってしまった時の原因のアセスメントや観察ポイント、助産師がスタッフ間で協力しどのような行動をとるべきかなど実践で活かせる講義内容でした。



午後からは参加者がグループにわかれ色々な症例を想定して、産科出血の場面のロールプレイを行いました。産科危機的出血の起きた場面では、コマンダー（指示者）を決め、医師・助産師・看護師がそれぞれの役割を果たしていくこと、先を予測した行動が必要であることを改めて学ぶことができました。研修後の感想では「ロールプレイがよかった」「出血の予防、早期発見、対応に活かしたい」などの意見が多くありました。現場で活かせる学びの深い研修となりました。

今後も、助産師の人材育成を図る為、助産師の助産実践能力の向上を図る為、様々な研修を計画しています。皆様の参加をお待ちしています。

山口県看護協会 助産師職能委員会



次回の新人助産師研修は 11 月 23 日：母乳育児支援です